廿日市さくらバス

(月)から変わります

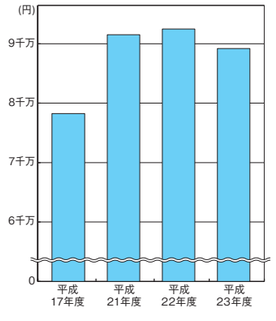
問合せ　都市計画課☎㉚9178

生活交通の現状

市が自主運行する「廿日市さくらバス」、「おおのハートバス」や一部の民間バス路線などは、運賃収入だけでは運行経費が不足することから、市税を投入し赤字分を補てんしています。

少子高齢化やマイカー利用の普及により、市全体のバスなどの利用者は減少傾向にあり、一方で生活交通の確保維持のための行政負担額は、近年、高い水準で推移しています。

市自主運行バス運行負担金および路線バスなど運行補助金の推移



安心できる暮らしに

市の高齢者数は年々増加し、現在、車を運転している人も、いずれは自家用車を手放す時が来るかもしれません。昨年、自動車運転免許を自主返納された人は市内で113人（うち、65歳以上は108人）。車がなくても安心して生活を送るために、バスなどの生活交通は欠かせないものです。

※主なバス停のみ表示しています

廿日市さくらバスの主な変更点

- ○平日２台運行から３台運行となり、便数が増えます
- ○西循環は、双方向運行になります
- ○東循環の佐方ルートが、スポーツセンター経由になります
- ○東循環の宮内ルートは、宮内串戸駅からの帰り便としても利用できるようになります
- ○100円運賃を廃止し、新しい運賃になります
- ※乗継券など詳細な利用方法は、利用案内などをご覧ください

バスが１台増えて もっと便利に！

廿日市さくらバス運賃

	大人	小児	障がい者	
			大人	小児
東循環	150円	100円	100円	50円
西循環	200円			

おおのハートバス

12月2日運行内容が

実証運行をスタート

12月2日から、「廿日市さくらバス」と「おおのハートバス」の運行内容を変更し、実証運行を開始します。これは、廿日市市生活交通再編計画（平成23年3月策定）に基づき、サービスの向上と合わせて、運賃の見直しを行い、持続可能なサービスを目指すものです。

おおむね2年間の実証運行期間中に、利用実態や利用者の満足度、民間路線バスへの影響などを把握・分析します。その上で、状況により運行内容の見直しを行ったのち、本格運行へ移行します。利用者および地域の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

時刻表・利用案内

バスの車内や市役所、大野支所および各市民センターなどへ、11月中旬ごろに備え付けます。大野地域はこれまで同様、戸別配布する予定です。また、市ホームページにも掲載します。

回数券の取り扱い

100円券と50円券をセットにしたミックス回数券を準備ができ次第、車内販売します。現行の回数券は、ミックス回数券と組み合わせるか、差額分を現金で支払うことで引き続き利用できます。

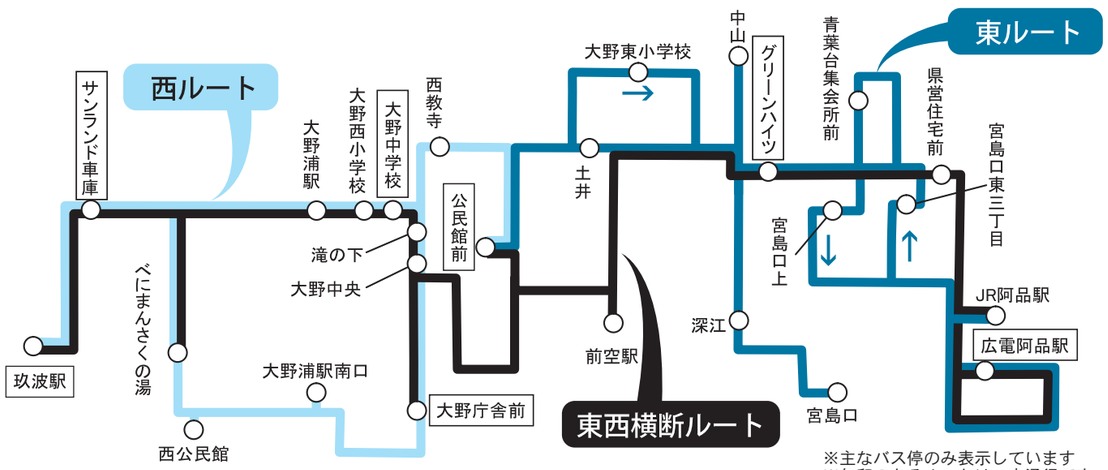
バスが１台増えて もっと便利に！

おおのハートバスの主な変更点

- ○平日東西横断ルートが２台運行となり、便数が増えます
- ○分かりやすいダイヤになります
- ○100円運賃を廃止し、新しい運賃になります
- ※乗継券など詳細な利用方法は、利用案内などをご覧ください

おおのハートバス運賃

大人	小児	障がい者	
		大人	小児
150円	100円	100円	50円



※主なバス停のみ表示しています
※矢印のあるルートは一方通行です
※［　］は各便の行先となるバス停